



まちのわだい



町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！



木村 妃伽さん 5年生
松岡 希枝さん 6年生
菅野教育長

札幌南小学校

バドミントン全国大会出場へ

9月に札幌市で行われた予選大会で、松岡さんが個人の部準優勝、同月、旭川市で行われた予選大会では、松岡さんが個人の部準優勝、松岡さん、木村さんを含めた団体(十勝A)が優勝し、二人は初の全国大会への切符をつかみ取りました。12月に沖縄県で開催される「全国小学生バドミントン選手権大会」に向けて、「一本一本のラリーを大切に、最後まであきらめずに羽を追いたい(松岡さん)」「一本でも多く取れるように頑張ります(木村さん)」と熱い意気込みを語りました。



札幌南中学校 3年生
齊藤 政翔さん
帯広税務署
小坂副署長

中学生の「税についての作文」

税の正しい知識と関心を

中学生の「税についての作文」の表彰を行いました。身近に感じた税に関すること、テレビや新聞で知った税の話などを題材とした作文を書くことで、税について関心を持ち、正しい理解を深めてもらうため、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁が毎年実施しています。道内上位の「北海道納税貯蓄組合連合会会長賞」を札幌南中学校の齊藤 政翔さん(3年生)が受賞しました。今年度は道内で3,721編の応募があり、町内では齊藤さんを含めて6人が入賞しました。



11/22 災害時における食料物資の供給に関する協定
防災協定締結式

災害時における食料物資の供給に関する協定締結 災害時にも安心を

(株)ハピネス・デリカと「災害時における食料物資の供給に関する協定」を締結しました。町内に異常な自然現象や大規模な災害が発生した場合や、その恐れがある場合に、おにぎりなどの米飯食品や加熱済みの惣菜といった食料物資をまちの要請に応じて提供していただけることになりました。非常時にも、町民の生活が早期に安定することを目的としています。



11/14

忠類小学校

ごみの分別について考えよう

忠類小学校の4年生が作成したポスターが、(株)五ノ嵐興業のごみ収集車に取り付けられました。ポスターは、児童がごみ回収の見学等で学んだことを基に、「きちんとごみの分別をしてほしい」「きれいな街にしたい」という想いで作成したものです。ポスターを取り付けた車は、町内のごみ収集で使用されます。



アスリートと創る
オリンピックの町 創生事業

幕別町応援大使とスポーツをしよう！

12/6

7人制女子ラグビー元日本代表として、リオデジャネイロオリンピックに出場し、2年前に現役を引退してからは、レフェリーとして今年のパリオリンピックへの出場を目指している桑井亜乃さん。母校の幕別中学校を訪れ、1、2年生50人にラグビーの楽しさを伝えました。タックルの代わりに腰に付けたタグを奪うことで誰でも安全にプレイできる「タグラグビー」を紹介し、体育館には爽やかな汗を流した子どもたちの歓声が響きました。



▲指導する 桑井 亜乃さん



▲白熱する子どもたち

12/16



▲プレイする 圓道 将良選手



▲サインを求める子どもたち

鹿児島ユナイテッドFCに所属する圓道将良選手が母校の札幌南中学校を訪れ、町内サッカー少年団(白人サッカー少年団、幕礼FC、札幌WEED)の子どもたち25人とフットサルを通じて触れ合いました。

繊細なボールタッチとドリブルが武器の圓道選手のプレイを間近で体感した子どもたちは、Tシャツやボールにサインを求め、憧れのまなざしで見つめていました。



12/1

途別小学校「もちつき集会」

おいしいお餅を頬張って

途別小学校の子どもたちが学校の水田で育てた米を使った「もちつき集会」が行われました。地域の伝統を伝えようと始まった米づくり体験は、毎年、子どもたちが田植えから収穫、脱穀までを丁寧に行っています。大切に育てた米は、家族や先生たちと協力しながら、いちご大福やきな粉餅、お雑煮など、数種類のお餅に料理しました。おいしいお餅を口いっぱい頬張った子どもたちの満足そうな笑顔が印象的でした。



11/24

企業版ふるさと納税 感謝状贈呈式

企業版ふるさと納税

税理士法人FPCに感謝状

公認会計士、税理士などの専門家で構成する税理士法人FPCから、企業版ふるさと納税として100万円の寄附金を頂きました。井上 理代表は幕別町出身で、「生まれ育った幕別町で、今後子どもたちがすくすく育っていけるよう役立ててもらえたら」と話しました。今回の寄附金は、「子ども医療費助成事業」で、10月から実施した、高校生世代までの医療費の無料化などに有効に活用させていただきます。



▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

環境ナビ

防災環境課
地域環境係
(☎54-6601)

【特集】地球温暖化について考える(5/5回)

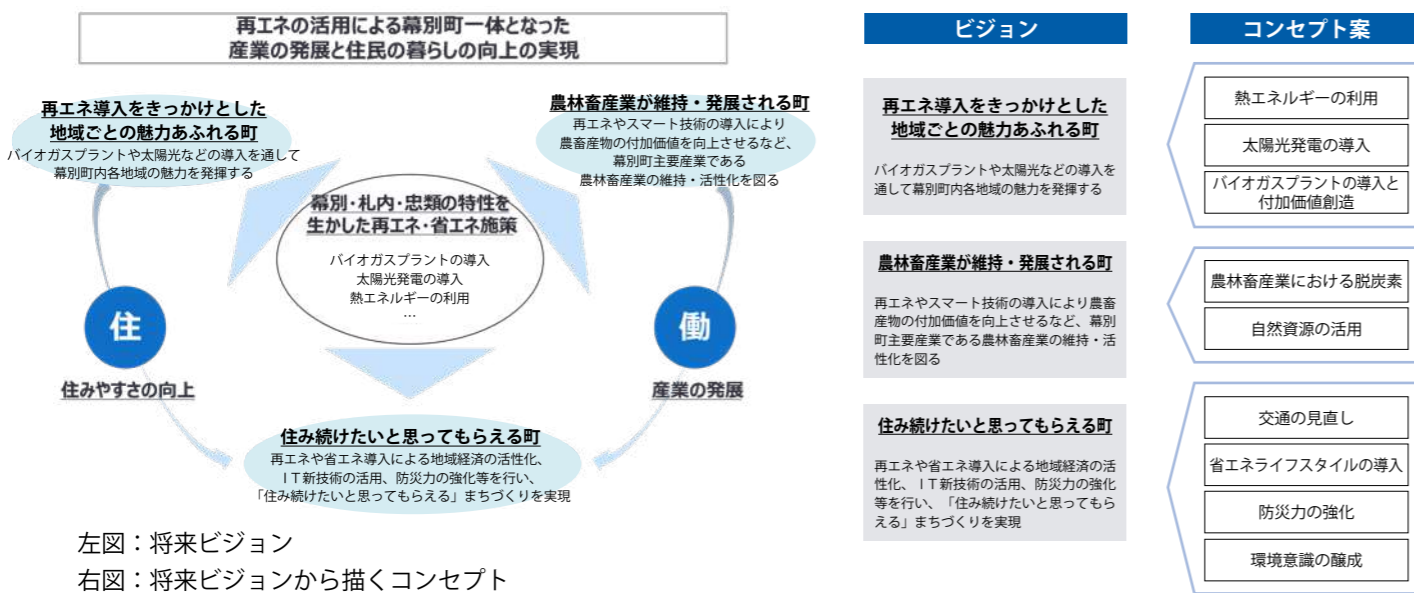
12月号では、幕別町地球温暖化対策実行計画(案)に関するパブリックコメントと住民説明会の実施についてお伝えしました。今月号では、幕別町の地球温暖化対策の将来ビジョンをお伝えします。

◆幕別町の将来ビジョン

令和4年度に、町の状況を分析するとともに、住民アンケートや事業者ヒアリングを行い、その結果から「再エネの活用による幕別町一体となった産業の発展と住民の暮らしの向上の実現」を将来ビジョン案としました。幕別・札内・忠類のそれぞれの特性を生かした再エネ・省エネ施策を実施していくことで「再エネ導入をきっかけとした地域ごとの魅力あふれる町」「農林畜産業が維持・発展される町」「住み続けたいと思ってもらえる町」を将来ビジョンの3本柱として実現しようと考えています。

加えて、将来ビジョンを実現するための施策方針であるコンセプト案も作成しました。今後は、このコンセプト案を基に具体的な施策を考えていきます。

また、施策を検討するにあたり、現在、町内の小中学校および高校の児童・生徒にも施策を考えてもらっています。11月号で紹介した目標である「カーボンニュートラル」を実現する2050年は、今の子どもたちが社会の中心で活躍している時代です。子どもたちの意見も大切にしながら、脱炭素のまちづくりを進めていきます。

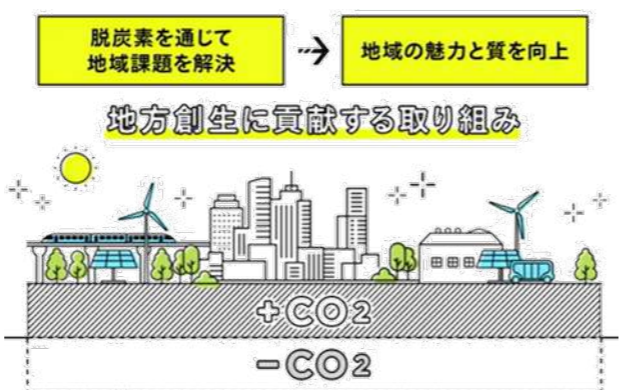


◆今後の地球温暖化対策の推進について

12月号で案内したパブリックコメントを経て、令和5年度中に「幕別町地球温暖化対策実行計画」の策定を完了します。

今後は、この計画に基づき取り組みを進めていくこととなりますが、CO₂排出量を減らすだけでなく、上記の将来ビジョンに向かって、幕別町がより良い町になるような脱炭素の取り組みを推進していきます。

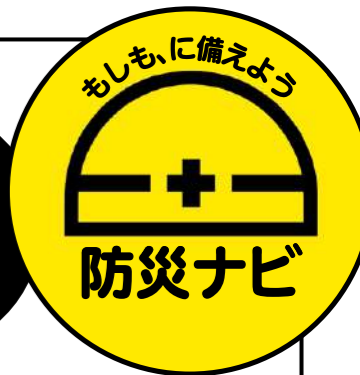
2050年カーボンニュートラルの実現は、町全体が一丸となって取り組みを進める必要があり、町民のみなさんの協力が不可欠となります。今後も「環境ナビ」ではさまざまな情報をお届けしますので、引き続きご覧ください。



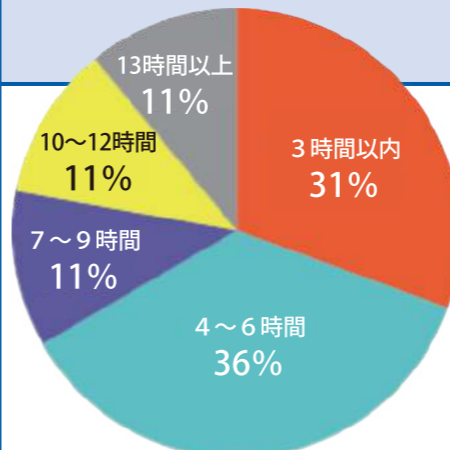
テーマ 災害時のトイレについて

災害用トイレセットの重要性と使い方をしよう!

防災環境課
防災危機管理係
(☎54-6601)



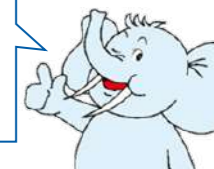
災害用トイレセットを備蓄しよう!



調査：日本トイレ研究所

災害時に断水すると、水洗トイレは使えません。過去の災害では、トイレに行くのを我慢した結果、脱水症状やエコノミークラス症候群などを引き起こした例もあります。災害時でも衛生的に排泄できるように、飲食物だけでなく、災害用トイレセットも備蓄しましょう。

左の図は震災後、被災者がどれくらいの時間でトイレに行きたくなくなったか調査した結果だよ。約3割の人が3時間以内にトイレに行きたくなくなったね。災害時のトイレの重要性が分かるね!



～災害用トイレセットの使い方～

- トイレの便座を開いて、排便袋(黒)とは別の袋(※災害用トイレセットには入っていません)をセットする。
- ①の上に排便袋(黒)をセットする。
- 用を足した後に**凝固剤**をかける。(排泄物を固め、臭いを抑える効果があります。)

最後に



④排便袋をしっかりと結んで持ち運び袋(①の袋や排便袋とは別)の中に入れ、持ち運び袋もしっかりと結んで燃やせるごみで処分する。



▶防災情報メール
二次元コードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、登録ください。
touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp

▶幕別町防災公式LINE
二次元コードを読み込み、「友だち」に追加で登録ください。
ID検索はコチラ⇒⇒@makubetsu